

樂美術館事業報告要旨

平成 24 年度

期間 2012年4月1日 〜 2013年3月31日

事業報告要旨

I 美術館活動事業

1. 作品・資料公開活用に関して（詳細は別紙の通りである）

(1) 展覧会活動

- 1) 春期特別展 樂歴代の名品 秘蔵の長次郎を見る
利休所持・利休の娘婿 万代屋宗安伝来黒樂茶碗「万代屋黒」
- 2) 夏期展 親子で見る展覧会 シリーズ「樂ってなんだろう」
季節を感じよう！！ 夏と茶の湯
- 3) 秋期特別展 肌をめぐる。
樂茶碗の陶肌 大西 釜の鉄肌 一閑・宗哲の漆肌
- 4) 新春展 樂歴代 春節会
- 5) 『定本 樂歴代』出版記念 樂歴代名品展〜樂家歴代が手本として学んだ伝来の茶碗〜

(2) 手にふれる美術館活動（講演解説を含む）

- 1) 手にふれる樂茶碗鑑賞会、特別鑑賞茶会、親子でお茶一服、手にふれる展示

(3) 他機関との協力活動

- 1) 館外展示協力事業
- 2) 海外交流事業、他の美術館・博物館との協力事業
- 3) その他の機関・団体との協力事業

2. 保存・修復に関して

- 1) 特別鑑賞室（茶室）の修復、茶会備品の修理を行った。

3. 作品・資料収集に関して（作品リストは別紙の通りである）

- 1) 新規購入作品3点を基本財産に繰り入れた。
- 2) 4件の作品寄贈を受け、作品49点を基本財産に繰り入れた。

II 研究・資料図書公開事業

- 1) 歴代解説小冊子はじめ研究図書資料を前年度に引き続き公開、販売した。
- 2) 図版本『定本 樂歴代』（樂美術館監修・淡交社刊）を刊行した。
- 3) 鉛釉の研究会を開催、産業技術センターで研究試験を行った。

III 学校・社会教育事業

- 1) 小・中・高等学校への協力活動として、「シリーズ『樂ってなんだろう』」展、「親子で見る樂茶碗鑑賞会」、「親子でお茶一服」を開催。
- 2) 研修授業・修学旅行学習への協力をした。
- 3) 小中学生対象の樂焼の歴史ワークシートを制作、配布した。
- 4) 大学、各種学校のゼミ、研究会への協力をした。

地域社会への文化協力、社会教育活動

- 1) 生涯学習など、社会教育事業への協力をした。

I 美術館活動事業 1. 作品資料公開活用に関して (1) 展覧会活動 (当館展示)

館展示事業

展示事業1 春期特別展 樂歴代の名品 秘蔵の長次郎を見る 2012年3月10日(土)～6月24日(日)

サブタイトル 利休所持・利休の娘婿 万代屋宗安伝来黒樂茶碗「万代屋黒」

初代長次郎から15代吉左衛門まで、樂歴代の代表作を一堂に展観。利休の娘婿である万代屋宗安所持の知られざる名碗、長次郎作黒樂茶碗と本願寺伝来として名高い道入作黒樂茶碗「唐衣」の秘蔵の2作を特別初公開した。

展示事業2 夏期展 親子で見る展覧会シリーズ「樂ってなんだろ」 2012年6月30日(土)～9月2日(日)

サブタイトル 季節を感じよう!! 夏と茶の湯

樂焼のルーツを辿り、その特色をやさしく解説した展覧会。子供にも理解しやすい楽しい展示解説や、作品資料に手でふれて鑑賞するなど工夫を凝らして展示した。樂家15代樂吉左衛門のレクチャーや、土に触れるワークショップも実施。

展示事業3 秋期特別展 肌をめでる。

2012年9月8日(土)～12月24(月・祝)

サブタイトル 樂茶碗の陶肌 大西 釜の鉄肌 一閑・宗哲の漆肌

樂歴代の作品と大西清右衛門家を中心とした釜、飛来一閑家と中村宗哲家の歴代代表作を展鑑しながら茶の湯にはぐくまれた質感・素材の美学を追究した。

展示事業4 新春展 樂歴代 春節会

2013年1月6日(土)～3月3日(日)

サブタイトル

正月・立春・節分・初午・雛祭りなど、正月から春にかけて、様々な節会が季節を彩る。樂茶碗もまた、細やかな季節感をその姿や趣に、そして、付けられた銘を通して味わい深く表現している。本展では、初代長次郎から15代吉左衛門まで、季節感あふれる作品の展示を通して、春の喜びを味わっていただいた。

展示事業5 『定本 樂歴代』出版記念 樂歴代名品展

2013年3月9日(土)～7月7日(日)

サブタイトル 樂家歴代が手本として学んだ伝来の茶碗

『定本 樂歴代』の出版を記念する展覧会。14代寛入によって寄贈された樂家伝来の作品は、樂焼400年のエッセンスが凝縮している。樂家歴代は、どのような作品から、どのように学び、新たな作風へと結びつけてきたのか。『定本 樂歴代』に基づき、樂歴代に環流する造形精神を浮かび上がらせた。

I 美術館活動事業 1. 作品資料公開活用に関して (2) 手にふれる美術館活動

II. 手にふれる美術館

1. 手にふれる楽茶碗鑑賞会

当館所蔵の作品を手に触れて鑑賞する。当館所蔵作品は茶碗をはじめとした茶の湯工芸品であるため、館付属の小間茶室で茶の湯道具組を再現、その後広間に移動し、作品を手にとって鑑賞。当館学芸員の解説、質疑応答を行う。

開催期日

毎月一回開催

特別開催

佐川アドバンス(34名・6/30、33名・9/11)、淡交社(19名・7/3、20名・9/20、20名・9/21)、ホテルオークラ(10名・7/26、11名・7/29)、JR東海ツアーズ(13名・9/30、15名・10/18、28名・11/4)、日本陶芸旅行(15名・11/8)、京都造形芸大通信(17名・11/10)、淡交会札幌第三支部ゆきはな青年部(11名・11/11)、淡交ツアー(17名・11/16)

2. 特別鑑賞茶会

当館所蔵作品を用いての茶会形式による作品鑑賞会。館長による作品解説、質疑応答を行う。

開催期日

2012年5月20日(日)、6月10日(日)、9月16日(日)、10月21日(日)

<七夕茶会>7月9日(月)

2013年2月24日(日)、3月24日(日)

3. 手にふれる展示活動報告

「親子でお茶一服」を開催(中学生以下無料)

- | | | |
|-------------------|-----|-----------------------|
| 1. 2012年5月5日(土・祝) | 参加者 | 保護者 7名、小学生 5名、中学生 1名 |
| 2. 2013年3月3日(日) | 参加者 | 保護者 12名、小学生 5名、中学生 1名 |

小・中学生の親子対象。副館長楽扶二子の点前、解説による、親子でお茶一服を体験。楽茶碗でお茶を飲み、茶の湯文化、楽焼の世界に触れた。

「親子で見る展覧会 解説とワークショップ」を開催(中学生以下無料)

2013年8月5日(日) 参加者 保護者26名、小学生18名、中学生5名

館長楽吉左衛門が子供への楽焼解説をし、その後、参加の子供は実際に轆を吹いたり、窯道具に触れるなど、粘土で茶碗も制作した。遊び感覚の中で子供の自発的な観察力を発揮させるよう工夫を凝らした。活発な質問に答え、盛会であった。

Ⅱ 研究・資料図書公開事業

研究・資料図書公開事業報告

資料図書公開事業

1. 『定本 樂歴代』（樂美術館監修 樂吉左衛門・樂篤人共著 淡交社刊）が平成24年3月に完成。
出版記念の特別展を開催する。
＊『定本 樂歴代』出版記念 樂歴名品展―樂家歴代が手本として学んだ伝来の茶碗―
（会期：2013年3月9日（土）～7月7日（日））
2. 『定本 樂歴代』英語版を刊行すべく準備に取り組む。平成26年刊行予定。

Ⅲ-1. 学校・社会教育事業（小中高等学校関係）

学校・社会教育事業報告

1. 小、中、高等学校協力事業報告

- 協力事業1** **展覧会「シリーズ『樂ってなんだろう』
季節を感じよう！！ 夏と茶の湯」** 会場 樂美術館
日時 6月30日（土）～9月2日（日）
小学生にも理解できるように解り易く樂焼の歴史、特色を解説。特に茶碗の焼成方法に触れる内容で構成、手に触れる展示も行った。
- 協力事業2** **「親子で見る樂茶碗鑑賞会」 小中学生無料** 会場 樂美術館
日時 8月5日（日）
館長樂吉左衛門が子供へ樂焼解説をし、その後、参加の子供は実際に轆を吹いたり、窯道具に触れるなど、粘土で茶碗も制作した。遊び感覚の中で子供の自発的な観察力を発揮させるよう工夫を凝らした。活発な質問に答え、盛会であった。
- 協力事業3** **「親子でお茶一服」 小中学生無料** 会場 樂美術館 茶室
日時 5月5日（土・祝）、3月3日（日）
副館長樂扶二子が小中学生の親子を対象に特別鑑賞茶会を行い、小間での空間体験、広間での茶の湯体験を指導解説した。実際に古い樂茶碗でお茶をいただく体験に、子どもも親も興味津々。緊張しながらも、熱心に質問をしていた。
- 協力事業4** **研修授業・修学旅行学習として**
京都府立嵯峨野高等学校 生徒50名、教師2名 2012年7月31日（火）
制作ビデオを上映、樂焼の基本的説明、展覧会解説、質疑応答を学芸員が行った。
その後、「親子で見る展覧会 シリーズ『樂ってなんだろう』季節を感じよう！！
夏と茶の湯」展を鑑賞した。
- 京都市立銅駝美術工芸高等学校** 生徒5名、教師1名 2012年10月26日（金）
制作ビデオを上映、樂焼の基本的説明、展覧会解説、質疑応答を学芸員が行った。
その後、「秋期特別展 肌をめぐる。樂茶碗の陶肌 大西 釜の鉄肌 一閑・宗哲の漆肌」展を鑑賞した。
- 神奈川学園高等学校** 生徒9名、教師1名 2012年11月7日（水）
制作ビデオを上映、樂焼の基本的説明、展覧会解説、質疑応答を学芸員が行った。
その後、「秋期特別展 肌をめぐる。」展を鑑賞した。
- 北白川小学校** 生徒4名、教師1名 2013年1月22日（火）
サークルごとにそれぞれ選んだ館を訪れる。茶道をしている生徒の意見で当館への来館となり、各自それぞれに「新春展 樂歴代 春節会」展を鑑賞した。
- 都立両国高等学校** **茶の湯コース** 生徒22名、教師2名 2013年3月22日（金）
制作ビデオを上映、樂焼の基本的説明、展覧会の見所などの解説を学芸員が行った。
その後、「『定本 樂歴代』出版記念 樂歴代名品展」を鑑賞した。

III-2. 学校・社会教育事業（大学・各種学校関係）

学校・社会教育事業報告

2. 大学、各種学校への協力事業報告

〈美術館来館にて〉

1. Mass. College of Art、Emmanuel College（ボストン）陶芸専攻

学生16名 2012年5月31日（木）

内藤恵様引率で来館。英語版ビデオ鑑賞後、「樂歴代の名品 秘蔵の長次郎を見る
利休所持・利休の娘婿万代屋宗安伝来黒樂茶碗『万代屋黒』」展を鑑賞した。

2. 京都伝統工芸大学

学生 8名 2012年7月27日（金）

学生 7名 2012年7月29日（日）

同大学松下先生引率で来館。ビデオ鑑賞後、「親子で見る展覧会 シリーズ『樂ってな
んだろう』季節を感じよう！！ 夏と茶の湯」展を鑑賞した。

3. 京都女子大学

学生 5名 2012年10月13（土）

松尾敦子先生（野村美術館学芸員）引率。学芸員の解説後、ビデオを鑑賞した。その
後、「秋期特別展 肌をめぐる。樂茶碗の陶肌 大西 釜の鉄肌 一閑・宗哲の漆肌」
展を鑑賞した。

4. 京都造形大学

学生17名 引率者2名 2012年11月10日（土）

制作ビデオ鑑賞、樂焼の基本的な解説を学芸員が行う。その後、「新春展 樂歴代
春節会」展を鑑賞した。

5. 日本女子大学茶道部 京都研修

学生18名 2013年3月20日（水・祝）

制作ビデオ鑑賞、樂焼の基本的な解説を学芸員が行う。その後、「『定本 樂歴代』出
版記念 樂家歴代が手本として学んだ伝来の茶碗」展を鑑賞した。

〈館外活動〉

1. 名古屋芸術大学 美術学部公開講座

2012年6月26日（火）

会場：名古屋芸術大学西キャンパスB棟大講義室

館長樂吉左衛門が「長次郎茶碗と私」と題して講演を行った。

学生、一般参加者が聴講した。参加者 学生、一般参加者 約200名。

5. 日本女子大学茶道部 京都研修

学生18名

2013年3月20日（水・祝）

制作ビデオ鑑賞、樂焼の基本的な解説を学芸員が行う。その後、「『定本 樂歴代』出
版記念 樂歴代名品展―樂家歴代が手本として学んだ伝来の茶碗―」展を鑑賞した。

Ⅲ-3. 学校・社会教育事業（地域・他団体関係）

24年度

学校・社会教育事業報告

3. 社会教育事業報告

社会教育事業1. あやめ茶会

会場	重要文化財 永富家住宅
日程	6月16日（土）・17日（日）
事業主体	幽美会
内容	永富家住宅(重要文化財)を使用した茶会に作品出品し、茶会を開いた。全国から500人余りの参加者が茶会を楽しみ、樂美術館の作品を鑑賞した。

社会教育事業2. 裏千家淡交会新潟支部3青年部合同臨時総会 講演

会場	新潟市 ユニゾンプラザ
日程	8月26日（日）
事業主体	裏千家淡交会新潟支部3青年部
内容	館長樂吉左衛門が「長次郎・樂歴代」のテーマで講演を行った。

社会教育事業3. 一般講習講演会

会場	名古屋国際会議場
日程	10月23日〔火〕
事業主体	表千家同門会愛知県支部
内容	館長樂吉左衛門が「長次郎茶碗と私」と題して講演を行った。 茶の湯経験者 約1000名が聴講した。

社会教育事業4. 表千家京都青年部臨時鑑賞会

会場	樂美術館・ロビー
日程	12月1日
事業主体	表千家京都青年部
内容	館長樂吉左衛門が、樂家と表千家の関係や、樂茶碗の特徴、秋期特別展「肌をめぐる。」の見所などの講義を行った。 茶の湯経験者 約30名が聴講した。